まとめテスト①

中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
・計算は別の紙に。答えは数だけ書く（単位・%は書かない）。小数は 0.7 のように書き、分数は使わない。
・階級は 10〜15 なら 10以上15未満 と読む。大問5は文で書く。計算した 値を 書いて、理由を 説明する。

大問1　求める

各2点（10点）

(1) 階級が 20以上35未満。
この 階級の 幅は？

(2) 8個の 点数 4、7、8、9、11、12、13、15
中央値は？

(3) 7個の データ 3、5、5、7、5、9、7
最頻値は？

(4) 度数 2、2、3（7人）。相対度数を 四捨五入で
小数第2位まで 求め、
合計は？

(5) 7人の データ 2、3、3、4、5、6、33
平均値以上の 人は 何人？

大問2　読む・考える

各3点（18点）

(1) 1組は 30人中 12人、2組は 40人中 14人が
ねこを 飼っている。割合が 大きい 組の
相対度数は？

(2) 紙コップを 500回 投げて 底が 上を向いたのは
380回。確率の 見積もりは？

(3) 20人の 点数。階級値 5、15、25、35、45点、
度数は 2、4、7、5、2人。
階級値を 使った 平均値は？

(4) 30以上40未満から 始まる 度数折れ線。
階級の 幅は 10。左はしの 度数0の 点の
横の 位置は？

(5) ペットボトルの フタを 500回 投げた。
表 100回、裏 400回。
表の 相対度数は？

(6) 4日間の 読書(ページ) 0、18、24、30
平均は？

大問3　度数分布表を使う

各4点（8点）

30人の 点数を 調べた。左の 表は その 度数分布表である。

点数（30人）

階級(点)	度数
0〜10	2
10〜20	6
20〜30	10
30〜40	8
40〜50	4

(1) 階級値を 使って 平均値を 求めよ。

(2) 30未満の 累積相対度数は？

大問4　データを 変える・誤りを直す

各4点（8点）

(1) Cさんは データ 11、3、13、5、8、12、4 の
記録の 順の 真ん中 5 を 中央値と した。
正しい 中央値は？

(2) データ 2、4、4、6、9 の 9 を 19 に
直す。平均値は 何 ふえる？

大問5　説明

6点

Bさんは、A班（4、5、5、6、6、7冊）と B班（1、2、3、4、5、30冊）を 比べて、
「平均値が 高い B班の 方が、ふつうの 人は 多く 読んでいる」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、値を 使って 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの活用」のプリント一覧がひらきます

まとめテスト①【こたえ】

中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	点	採点のめやす（×のときの誤答）	やるところ（記事の小単元）
1(1)	15	2	16 は ×（整数を 数えた）	① 度数分布表
1(2)	10	2	9 は ×（真ん中の 片方）	⑤ 代表値と範囲
1(3)	5	2	3 は ×（回数を 答えた）	⑤ 代表値と範囲
1(4)	1.01	2	1 は ×（合計を 1に した）	③ 相対度数
1(5)	1	2	4 は ×（半分と 考えた）	⑦ データの比較・判断
2(1)	0.4	3	0.35 は ×（度数が 多い 組の 値）	③ 相対度数
2(2)	0.76	3	0.5 は ×（2通りだから 1/2 と した）	⑧ 相対度数と確率
2(3)	25.5	3	4 は ×（度数を 平均に した）	⑥ 度数分布表からの代表値
2(4)	25	3	35 は ×（最初の 階級の 点で とめた）	② ヒストグラム・度数折れ線
2(5)	0.2	3	0.25 は ×（分母を 裏に した）	⑧ 相対度数と確率
2(6)	18	3	24 は ×（0を 個数から 外した）	⑤ 代表値と範囲
3(1)	27	4	25 は ×（階級値の 平均に した）	⑥ 度数分布表からの代表値
3(2)	0.6	4	1.8 は ×（その 階級の 度数で わった）	④ 累積度数・累積相対度数
4(1)	8	4	5 は ×（記録順の 真ん中）	⑤ 代表値と範囲
4(2)	2	4	10 は ×（ふえた 分を 答えた）	⑦ データの比較・判断
5	下の 解答例	6	下の 採点基準（2点×3）	⑦ データの比較・判断

点数（30人）

階級(点)	度数
0〜10	2
10〜20	6
20〜30	10
30〜40	8
40〜50	4

大問5　採点基準（各2点）

① 「平均値は B班7.5冊・A班5.5冊」と 値を 書く
② 「B班は 30冊の 1人に 平均値が 引き上げられた」と 書く
③「中央値は A班5.5冊・B班3.5冊で A班が 多い。ふつうの 人は A班の 方が 多く 読んでいる」と 結論を 書く（中央値以外でも 理にかなった 説明なら ○）

解答例
平均値は B班が 7.5冊で A班の 5.5冊より 高いが、B班は 30冊の 1人に 引き上げられた 値。
中央値は A班が 5.5冊、B班が 3.5冊で、ふつうの 人が 読む 冊数は A班の 方が 多い。

丸つけ　答えは 数だけで ○（単位や %が あっても ○）。0 も 答え。大問5は 採点基準の ①〜③ ごとに 2点。

考え方（途中の式）

1(1)(2)　20以上35未満の 幅は 35−20＝15（整数を 数えて 16 は ×）。8個は 4番目 9 と 5番目 11 の 平均で 10

1(3)(4)　最頻値は いちばん 多い 値で 5（出た 回数 3 は ×）。相対度数は 2÷7≒0.29、2÷7≒0.29、3÷7≒0.43 で 合計 1.01（1に ならなくて よい）

1(5)　平均値＝56÷7＝8。平均値以上は 33 の 1人だけ

2(1)(2)　相対度数は 1組 12÷30＝0.4、2組 14÷40＝0.35 で 大きい 組は 1組の 0.4。確率の 見積もりは 380÷500＝0.76

2(3)(4)　平均値＝(5×2＋15×4＋25×7＋35×5＋45×2)÷20＝510÷20＝25.5。度数折れ線の 左はしは 最初の 階級の 点 35 の 1つ左で 35−10＝25

2(5)(6)　相対度数＝表の 度数÷投げた 回数＝100÷500＝0.2（100÷400＝0.25 は ×）。0 の 日も 数えて 72÷4＝18

3(1)(2)　階級値×度数＝10＋90＋250＋280＋180＝810、810÷30＝27。30未満は 2＋6＋10＝18人で 18÷30＝0.6

4(1)(2)　小さい順に 3、4、5、8、11、12、13 の 4番目 8。9を 19に 直すと 合計が 10 ふえる ので 5人の 平均は 10÷5＝2 ふえる

声かけの 例　階級の 幅 →「整数を 数えて ない？」　相対度数 →「総数で わった？」　平均値 →「外れた 値に 引っぱられて ない？」　確率 →「回数は 多い？」

40点以上　仕上がり。×の 問が あれば 右の「やるところ」を 1回 やってから 再挑戦。
30〜39点　×の 多い 小単元から、診断テストの 答え面の 表で 練習する 順番を 決める。
29点以下　診断テスト［A］に もどって、×の 小単元を 数える。

得点　　／ **50 点**　　×の 問は 右の「やるところ」へ（番号は 診断テストの 表と 同じ）。40点以上なら 仕上がり。

いちごドリル プリント